

指定管理者評価表

施設名	行田市はにわの館
施設所管課	教育委員会生涯学習スポーツ課

I プロセス評価

1 施設、設備の維持管理への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 建物、施設設備等の保守点検は適切に行われていたか。	3	日常的な点検の他に、業者による定期的な点検を行い、保守点検等の不備による事故は発生していない。異常時及び緊急時は、業務日誌に記録するよう努め、業務日誌記録の中で事故の予防にも努めた。	4	立ち入り検査を実施した結果、各契約に基づき適正に実施されていた。毎日の業務日誌も記録されており、事故防止にも努めていた。
② 清掃等快適な施設利用のための取組みがなされていたか。	4	取り組んでいる。日常清掃に加え消毒などの感染症対策を万全にし運営を行っている。	4	毎日の清掃が行われているため、館内隅々まで手が行き届いている。
③ 修繕箇所の把握及び修繕は適切に行われていたか。	3	施設所管課への報告を行い、速やかに修繕を行っている。 実施した修繕 1 ガス窯圧力計修繕 2 女子トイレタンク内トイレボール修繕 3 ガス窯内小破修繕	4	小規模修繕や緊急を要する修繕があったが、迅速な対応で対処するなど適切に行われていた。
④ 備品の管理状況は適切であったか。	3	備品の毀損滅失する事例無し。管理を適正に行っている。	3	備品の毀損滅失はないが、台帳が指定管理者にはなかったため、今後は同一の台帳を所持し、適切に整備、管理されたい。
	1次評価合計	13	2次評価合計	15

指定管理者評価表

2 サービス向上への取組み					
評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価			2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など		評価点	評価の理由
<p>① 事業計画を作成し、その計画に沿って実施したか。</p>	3	<p>自主事業計画において5事業を提案していたが、指定管理料の範囲内で「はにわづくり出張講座」、「古墳公園の賑わい感謝デー」、「小物作製講座」を上乗せし、8事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はにわづくり体験事業 2 はにわづくり連携・協力事業 <ul style="list-style-type: none"> ・日本自動車連盟（J A F）連携事業 ・タイムズクラブ（パーク24株）連携事業 ・イオンクレジットサービス株式会社 ・マイリフレッシュ事業（公立学校教職員組合埼玉支部） ・さきたま史跡の博物館相互連携事業 ・古代運會館との相互割引サービス事業 ・ふるさと納税記念品協力事業(行田市) ・行田市まちづくり出前講座(行田市) ・行田創生RPGゲームアプリクーポン券の提供(行田市) 3 はにわづくり出張講座 <ul style="list-style-type: none"> ・古代運會館（開花期間中に2回） ・産業文化会館（イベント開催日2/26に1回） 4 古墳公園の賑わい“感謝デー” <ul style="list-style-type: none"> ・公園内イベント開催日に粘土料金割引を実施 5 小物作製講座 <ul style="list-style-type: none"> ・はにわづくりの粘土を使用した小物作製講座を実施 6 はにわ小物販売事業 <ul style="list-style-type: none"> ・はにわをモチーフとしたオリジナルグッズを作製し、館内や市内イベントにおいて販売を実施（はにわ置物、マグネット、はにわストラップ等） ・ガチャマシーンを設置し、PRを図った。 7 はにわ作製依頼請負事業 8 はにわの館PR事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター及びパンフレット配布 ・ホームページ、Twitter、You Tubeを活用 ・マスコミ等への取材協力 ・情報誌等への掲載 		3	<p>事業計画のとおり実施されたが、コロナの影響を踏まえた自主事業を計画するなど、工夫を凝らした事業の計画を立てていただきたい。</p>
<p>② 市民及びNPO等と連携・協働し、施設を活用していたか。</p>	4	<ol style="list-style-type: none"> 1 公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、マイリフレッシュ事業を実施し施設活用を促した。 2 さきたま史跡の博物館との連携により、双方のPRを実施した。 3 行田市との連携により、ふるさと納税記念品協力事業を実施した。 4 行田市との連携により、行田創生RPGゲームアプリのクーポン券提供事業を実施した。 5 行田市まちづくり出前講座事業に登録した。 		4	<p>市のまちづくり出前講座に登録するほか、多岐にわたる団体と協働、連携し、多くの来園者の学びの場として活用されていた。</p>

指定管理者評価表

③	適切に職員が配置されていたか。	3	必要な資格（防火管理者）を有する職員を事業部内に配置している。 また、はにわづくりに関して、専門的技術及び知識を有したスタッフを配置している。	3	施設管理運営上、必要最低限の資格を取得し、適切に配置されている。
④	窓口等での接客態度は、利用者に不快な思いをさせることなく、適切であったか。	3	接客対応についての苦情はない。	3	苦情の申し出はなかったが、接客マニュアルに基づき常にサービス精神をもって対応いただきたい。
⑤	利用者の意見、苦情、要望等を抽出するための仕組み作りがされていたか。	4	以下のとおり、把握を行っている。 1 利用者への意見聴取 2 Eメールでの意見募集 3 意見箱の設置 4 イベントでのアンケート	4	常に利用者アンケートを実施し、意見や要望を把握するほか、必要な内容については市に報告を行っている。
⑥	意見、苦情、要望等への対応や問題解決に向けた体制が構築されていたか。	3	意見等が出た際は取りまとめを行い、改善を図っている。 1 利用者に対する注意事項の説明並びに利用案内及び注意事項の掲示 2 利用者との積極的なコミュニケーションによる利用者ニーズの把握 3 接遇研修の定期的実施 4 危機管理マニュアルの整備 5 ウイルス等感染防止対策の実施	4	意見や苦情等を受けた際は、左記のとおり体制が構築されているため、迅速かつ適正に対応している。
⑦	職員間において情報共有が頻繁に行われる体制が構築されていたか。	4	毎日業務報告書の作成を行い情報共有に努めている。	4	日々の日誌に記載され、常に情報共有がされている。
⑧	職員の資質向上に向けた取り組みが行われていたか。	3	技術者による研修を行っている。 1 接遇研修 2 はにわづくり技術研修	4	接遇研修のみならず、技術を主体とした研修を行うなど、サービス向上を図る取り組みが行われている。

指定管理者評価表

<p>⑨ 創意工夫による事業を立案し、計画的かつ適切に実施できたか。</p>	<p>4</p> <p>各事業について、以下のとおり目的を達成した。</p> <p>1. はにわづくり体験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客等に対し、子どもから大人までにはにわづくりを体験してもらうことで歴史教育及び文化の振興に貢献できた。 <p>2. はにわづくり連携・協力事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本自動車連盟（JAF）及びタイムズクラ（パーク24株）に加え、新たにイオンクレジットサービスと連携事業を行い、当該団体の会員を対象とした優待事業（粘土代割引）を実施することで、会報等に情報を掲載してもらい、利用促進を図った。 ・マイリフレッシュ事業については、公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、県内公立学校の教職員の利用促進を図った。 ・さきたま史跡の博物館と連携し事業を行うことで、相乗効果による利用促進を図った。 ・「ふるさと納税記念品協力事業」については、行田市にふるさと納税を行った方への商品として、はにわの館利用チケットを提供することで、行田市のPRに貢献するとともに利用促進を図った。 ・「行田市まちづくり出前講座」については、教育委員会の実施する事業に賛同し、市民から希望があった場合は活動場所に出向き、はにわづくり体験の指導及びPRすることで、利用の促進を図った。 ・「行田創生RPGゲームアプリクーポンの提供」については、ゲーム中に獲得する割引クーポンを提供することで、行田市のPRに貢献するとともに利用促進を図った。 <p>3. はにわづくり出張講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内外問わず、多くの方が集まる「開花期の古代蓮の里」や産業文化会館のイベント事業に出向き、はにわづくり体験をしてもらうことで、はにわの館のPR及び利用促進を図った。 <p>4. 古墳公園の賑わい“感謝デー”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古墳公園のイベント時にさきたま史跡の博物館と連携し事業を行うことで、相乗効果による利用促進を図った。 <p>5. 小物作製講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はにわづくりの粘土を使用したはにわ以外の実用的な小物を作製することで、リピーターの獲得等利用促進を図った。 <p>6. はにわ小物販売事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はにわの館スタッフの手作りによるはにわをモチーフとしたマグネット、ミニはにわ、置物、ストラップのほか、マスクチャーム、ピアスをラインナップに加え、販売強化に努めるとともに、ガチャマシンを導入するなど話題作りにも努め、はにわの館及び行田市のPRに貢献するとともにはにわづくりの技術・技能の継承によりスタッフの資質向上を図った。 <p>7. はにわ作製依頼請負事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄剣マラソンの中止により、例年作製依頼のある土器カップの実績はなかったが、はにわづくりの技術・技能の継承を図るため、内部研修を実施し、スタッフの資質向上を図った。 <p>8. はにわの館PR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来から展開していた近隣施設へのポスター・パンフレットの配布に加え、ホームページやTwitter、You Tubeを活用したPR活動やマスコミ等への取材協力、情報誌掲載、市主催イベントに参加し、PRに努めた。 	<p>3</p> <p>多くの事業を実施しているが、事業のマンネリ化が続いているため、工夫を凝らした事業の実施を希望する。</p>
--	--	---

指定管理者評価表

<p>⑩ 利用者の利便性向上に向けた取り組みが行われていたか。</p>	<p>2</p>	<p>1. 日常の施設巡回 2. 受動喫煙防止対策の実施 3. 施設利用者の問い合わせ等に対しニーズに合った案内を行い、快適な利用の提供 4. SNSを活用し最新情報を随時更新 5. ポスター及びチラシを活用して、公共施設・学校等に情報発信を行い、周知を図る 6. 県内外の施設と相互PRの実施 7. 新型コロナウイルス感染防止の徹底（消毒の設置、非接触型体温計の設置）</p>	<p>3</p>	<p>利用者に配慮した取り組みを行っているが、今後はこれまで以上に実績が伴う取り組みを行っていただきたい。</p>
<p>⑪ 広報、PR等について十分な取り組みが行われていたか。</p>	<p>4</p>	<p>パンフレットの作成やSNSを活用し幅広く広報を行っている。 また以下のとおり取り組みを行っている。 1 近隣の文化会館へポスター配布、マスコミに取材協力をするなどの広報活動を実施した。 2 民間業者や公共団体と連携し、(粘土代)割引事業を実施することで、お得にはにわづくりを体験できる機会を提供した。 3 遠方の利用者に対し、焼きあがった作品の発送サービスを実施し、便宜を図った。 4 はにわの館の周囲にのぼり旗を設置することで、利用者が館の位置を容易に認知できるよう配慮した。 5 多くの来場者が見込まれる開花期の古代蓮会館や産業文化会館のイベント開催時において、はにわづくり出張講座を計3回開催し、気軽に体験できる機会を提供した。</p>	<p>4</p>	<p>取り組みのPRはされているが、独自の手法を取り入れるなど、今後も結果に繋がる手段を模索してほしい。</p>
<p>⑫ 利用者アンケートを実施したか。</p>	<p>3</p>	<p>・施設利用及び出張講座でのアンケート調査の実施 ・利用時申込受付時の日常会話から聞き取り調査の実施 ・ホームページ内のお問い合わせホームを活用し、意見、要望等の受付</p>	<p>3</p>	<p>常に利用者アンケートを実施し、意見や要望を把握するほか、必要な内容については市に報告をいただいている。</p>

指定管理者評価表

⑬	利用者の意見を反映させる取組みがなされたか。	3	<p>利用者アンケートをからの意見などは可能な限り運営面に反映している。</p> <p>これまでに以下の通り実現を図っている。</p> <p>1 はにわの館の公園内の立地がわかりづらい。 →のぼり旗の設置や道路側の窓へのポスター掲示により対応した。</p> <p>2 利用状況を事前に把握したい。 →ホームページに臨時休館の情報や予約のスケジュール表の掲載により情報提供を行い、メールや電話で問い合わせを受けた。</p> <p>3 完成した作品を引き渡し期間までに取りに行けないので、保管期間を延長してほしい。 →保管期間の延長や発送のご案内を行うことにより、対応した。</p> <p>4 来館の記念になるものを購入したい。 →気軽に購入できる小物を作製し、販売することで対応した。はにわマグネットのほか、ミニはにわ、はにわ置物、はにわ携帯ストラップのほか、マスクチャームやピアスをラインナップに加え、商品の充実を行った。</p> <p>5 はにわづくりが難しい。 →従来の指導員による口頭説明に加え、動画や説明書を使い、わかりやすく説明した。</p> <p>6 市内小学校の校外学習の一環として毎年行っている体験が、利用人数の制限により館内で対応できない。 →先生に作り方を指導し、学校で作製してもらうなどの対応を行った。</p> <p>7 夏休みの宿題等で作製日当日に持ち帰りたい。 →通常、1カ月乾燥したのち、館内の窯で焼いてから引き渡しとなるが、焼かなくてもはにわ調の色をしている粘土を利用し、当日持ち帰りを可能にした。</p> <p>8 はにわづくりを体験したが、都合により、はにわ作品を完成させる時間がない。 →比較的短時間で作製可能な小物の講座を実施することで便宜を図った。</p>	4	意見を反映させる取り組みが迅速に対応されていた。
⑭	(複数の施設を管理している場合) 施設間及び市の施設所管課等と密に連絡を取れていたか。	2	報告は都度行っている。	3	軽微なものから重要な案件までその都度、報告を受けている。
1次評価合計		45	2次評価合計		49

指定管理者評価表

3 平等、安全対策への取組み				
評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 関係法令（地方自治法、労働関係法令、条例等）が遵守されていたか。	3	遵守している。開館時間や利用料金の変更等は行っていない。	3	関係法令を遵守し、それに基づき適切な施設運営が行われている。
② 対応する職員によってサービスの質に差が生じていなかったか。	4	生じていない。 職員のスキルアップのため、研修を以下のとおり行った。 1 スタッフミーティング 2 接遇研修 3 はにわづくり技術研修 4 民間主催職員研修	3	スキルアップのための研修を実施しているが、サービスや対応について、質の差を感じる時があった。
③ 個人情報の保護について職員が理解し、さらにその取組みがなされていたか。	3	行田市個人情報保護条例に準じて策定した財団個人情報保護規程に基づき適正かつ慎重な取扱いをしている。	3	財団独自の規定を定め、適切に運営されている。
④ 施設の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	3	施設の巡回を行い、施設の安全確認をしている。 また、下記のとおり修繕を行っている。 1 ガス窯圧力計修繕 2 女子トイレタンク内トイレボール修繕 3 ガス窯内小破修繕	3	注意深く施設の安全に配慮した対応を行っている。
⑤ 防犯、防災対策は適切にされているか。	2	実施した防災対策は、以下のとおり。 1 消火器の使用訓練及び119番通報訓練の定期的実施 2 緊急連絡網の整備 3 危機管理マニュアルの整備 4 消防設備法定点検の確実な履行 5 日常点検による事故・火災につながるものの把握及び除去等の予防対策の実施 実施した防犯対策は、以下のとおり。 1 施設の定期的な巡回、点検の実施 2 売上金の早期回収等、現金滞留の抑制 3 近隣施設との連携による情報の共有 4 退館時における在館者有無の確認及び施錠 5 防犯用具（サスマタ・防犯ブザー等）の配置 6 掲示物等による注意喚起の実施	3	左記のとおり、常に危機管理意識を持って職務にあたっていた。
⑥ 利用者が平等に利用できる取組みがなされていたか。	3	サービスの差が生じないよう、接遇研修や技術研修を行っている。	3	常に平等に対応するよう心掛けている。
⑦ 事故または災害発生時の対応体制が構築されていたか。	3	対応体制が構築されている。 1 消火器の使用訓練及び119番通報訓練の定期的実施 2 緊急連絡網の整備 3 危機管理マニュアルの整備 4 消防設備法定点検の確実な履行 5 日常点検による事故・火災につながるものの把握及び除去等の予防対策の実施	3	事故や災害など、リスクに対応するための体制が構築されている。

指定管理者評価表

⑧	感染症対策が適切に講じられているか。	4	<p>実施した対策は、以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日常清掃の適切な実施 2 空調機等の定期洗浄の実施 3 水栓箇所薬用石鹸を設置 4 定期巡回による汚損箇所の迅速な発見及び処置 5 ウイルス等感染防止対策として、アルコール除菌剤（手指消毒用）を設置 6 入館時に来館者の検温を実施 7 来館者の把握 8 利用者が使用した後の備品及び机等のアルコール消毒 9 利用者が使用した残土の廃棄 10 人数制限並びにソーシャルディスタンスの徹底 11 常時換気を実施 12 衛生対策の注意書きを掲示 	4	感染症を抑止するための対策がしっかりと行われている。
⑨	地域や関係団体等との連携が図られていたか。	2	<p>利用者や地域との連携・協働を以下のとおり、実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、マイリフレッシュ事業を実施した。 2 さきたま史跡の博物館との連携により、双方のPRを実施した。 3 行田市との連携により、ふるさと納税記念品協力事業を実施した。 4 行田市との連携により、行田創生RPGゲームアプリのクーポン券提供事業を実施した。 5 行田市まちづくり出前講座事業に登録した。 6 行田市主催のイベントに参加しPR及び小物販売を実施した。 	3	多岐にわたる団体と協働、連携し、多くの来園者の学びの場となっている。
1次評価合計		27	2次評価合計		28

4 効率性向上、改善に向けた取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 問題点の把握に努めていたか。	3	メールでの問い合わせやアンケート調査を実施し、意見があった際は迅速に対応している。	3	常にアンケートを実施するなど、問題点の把握に努めていた。
② 新たな取組みへの提案、改善意欲が見られていたか。	3	アンケートなどの情報から、お客様ニーズの把握を行い、自主事業など改善を行っている。	3	意見を反映させる取組みは行われたが、さらに指定管理者独自の工夫を凝らした取組みを行ってほしい。

指定管理者評価表

<p>③ 収入を増加するための具体的な取組みが行われたか。</p>	<p>4</p>	<p>以下のとおり、取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 近隣の文化会館へポスター配布、SNSの活用、マスコミに取材協力をするなどの広報活動を実施した。 2 個々のレベルに合わせたはにわづくりの指導を行うことで、ものづくりの楽しさを提供した。 3 民間業者や公共団体と連携し、(粘土代)割引事業を実施することで、お得にはにわづくりを体験できる機会を提供した。 4 遠方の利用者に対し、焼きあがった作品の発送サービスを実施し、利用向上を図った。 5 オリジナルグッズの数を充実させ、土産品として販売することで、都合で体験ができない来館者に当館へ来館した記念を提供した。 6 完成作品の納品は、窯焼き前に乾燥させるため一定の期間を要するが、可能な範囲で短縮を図り、利用者の要望に応じて柔軟に対応し、利用向上を図った。 7 窯焼きをしなくてもはにわ調の色をした粘土を利用し、作製日当日の持ち帰りを可能にし、収入向上を図った。 8 はにわの館の周囲にのぼり旗を設置することで、利用者が館の位置を容易に認知できるようにし、利用向上を図った。 9 多くの来場者が見込まれる開花期の古代運會館や産業文化會館のイベント開催時において、はにわづくり出張講座を計3回開催し、気軽に体験できる機会を提供した。 10 はにわ体験の所要時間は通常1時間程度を必要とするが、時間に余裕がない場合でも作製可能な小物作製講座を実施し、利用向上を図った。 	<p>4</p>	<p>新たな取り組みを導入しているが、マンネリ化が目立つため、さらに新たな自主事業を充実させてほしい。</p>
<p>④ 経費の効率的・効果的な執行がなされたか。</p>	<p>3</p>	<p>効果的に執行している。</p> <p>以下のとおり、実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スタッフの適正配置により臨時職員賃金を節減 2 古材の活用等により、消耗品費を節減 3 窯の効率的な運転により燃料費を節減 4 照明や空調設備の効率的な運転及びクールビズやウォームビズの推奨ポスターを掲示することで光熱水料費を節減 5 利用券等について必要最低限の枚数を作成し、印刷製本費を節減 6 インターネット環境を整え、問い合わせや調査等をネット検索に変更することで、通信運搬費を節減 	<p>3</p>	<p>様々な対策が行われたが、これまで以上の取り組みが必要ではないか。</p>

指定管理者評価表

⑤	清掃、警備、保守点検等の再委託業務がある場合、それらが適正な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	3	保守点検業務委託については、仕様書を作成し適正な水準で最小限の価格となるよう実施しているほか見積もり比較も実施している。	3	市に準じた適正な仕様書作成を実施されたい。
⑥	環境に配慮した取組みがなされていたか。	4	電気のごまめな消灯や空調温度を28℃設定にするなど省エネに努めている。また、紙の再利用など繰り返し使用できるものは使用し、ごみの削減を行っている。	4	電気の消灯による節電のほか、エアコンの適正温度設定など、細かな配慮で節約が見られた。
1次評価合計		20	2次評価合計		20

II 結果、成果評価

原則として、指定管理期間の初年度に設定した項目は変更できないものとします。

関連する評価項目	評価する分野	指標名	1次評価者（指定管理者）による評価					2次評価者（施設所管課）による評価		
			評価点	目標値/実績/増減の理由など					評価点	評価の理由
				R3	R4	R5	R6	R7		
2-⑨ 2-⑩ 2-⑬	利用者の増加	施設の利用者数	5	目標 4000	4000				5	かろうじて目標を上回ったが、さらに手法を凝らした取り組みで利用者増加を図っていただきたい。
				実績 4043						
				理由 広報に特に力を入れPRを行ったため、目標を上回ることが出来た。						
1-① 1-② 1-③ 3-④ 3-⑤ 3-⑦ 3-⑧	施設の安全性・維持管理	清掃・点検等の頻度	4	目標 清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施				4	新型コロナウイルスに配慮した対策として、毎日実施されていた。
				実績 清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施						
				理由 感染症対策を含め清掃、日常点検を毎日行っている。						
4-③ 4-④ 4-⑤	収支計画の安定性	収支の黒字額	5	目標 2,811,000	2,902,000				5	新型コロナウイルスの影響を受けたが、今後も感染症に配慮しつつ、収入増加に繋がる自主事業の展開を願いたい。
				実績 3,008,531						
				理由 小物の販売や出張講座など実施し利用向上を図ったため収益が目標を達した。						
1次評価合計			14	2次評価合計					14	

2次評価者からの指導事項
日々の管理運営については、概ね適切に実施されており、アンケートなどによる利用者満足度も高評価を得ているが、マンネリ化が目立つため指定管理者独自の新たな自主事業の取り組みに期待する。

1次評価者の総合評価		2次評価者の総合評価		100点換算	総合評価
合格点	119	合計点	126	70	B
満点	180	満点	180		

I プロセス評価

仕様書や提案（業務計画）の内容に照らし合わせて	特に優れていると認められる	5点
	優れていると認められる	4点
	適正であると認められる	3点
	努力が必要と認められる	2点
	改善すべき点が認められる	1点

II 結果・成果評価

各年度の目標数値を基準として	達成度100%以上	5点
	達成度90%以上100%未満	4点
	達成度70%以上90%未満	3点
	達成度50%以上70%未満	2点
	達成度50%未満	1点

※指標がネガティブなもの（例：「事故発生件数」、「苦情発生件数」など）は達成度が低いほど点数が高くなります。

総合評価基準

100点換算で80点以上	A
100点換算で60点以上80点未満	B
100点換算で60点未満	C